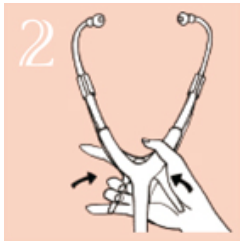
＜取り付け手順＞

左右どちらかのフックから順に金属管（耳管）に取り付けます。
6mm管の聴診器は取り付け時に硬く感じますが、取付け後のご使用に問題はありません。



グリップを握って、ゆっくりと開閉することで、結合部が自動的に適正な位置へ移動しますので、このままご使用ください。
※耳に装着後、クロス部分を鼻の位置くらいまで一度上下させると耳内でのフィット感が更に増します。

※ リットマンクラシックⅡS.E.他の聴診器に対応しています。対応聴診器一覧は取扱説明書等のQRコード等でご確認いただけます。

※ 洗浄消毒は可能です。アルコールをガーゼ等に浸して清拭してください。

※ サイズの不適合による無理なフックの押し込みは、破損の原因となりますのでお控えください。

＜聴診器への取り付け例＞※リットマンのクラシックⅡS.E.を使用

工具なども不要で、取り付けはワンタッチで完了します。
取り付け後は、グリップを握ることで聴診器を片手で開閉できるようになります。
緊急時や、一人での診察対応時に片手がフリーになるため、大変有用です。

＜「STETHOWING」取り付け後＞

聴診器にSTETHOWINGを
取り付け後は、取り外し不要で
そのままお使いいただけます。